

基本方針	施策の方向性	施策	進捗度合い*	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1. 市街地における回遊性の向上（重点方針）	1. 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化	市街地循環バス導入		・第1回実証（2か月）	・第2回実証（4か月）	・第3回実証（1年）	・本格運行		
		既存バス路線の見直し		・関係者協議実施	・重複区間の整理やイオン乗り入れ等、利便性が高く効率的な形態を目指し協議検討 可能であれば見直しの実行へ				
	2. 鉄道駅や交通結節点の機能強化	館山駅各施設の利便性向上		・民間の取組始動			・再整備計画策定・活性化に向けた検討 可能であれば実行へ		
		集客施設等におけるバス待ち環境整備		・安房塩見バス停完成	・商業施設等でのバス待ち環境向上に向けた検討 可能であれば実行へ				
2. 隣接自治体との広域的な連携の推進	3. 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化	館山駅での鉄道・バス等の接続改善		・各路線のダイヤ改正等に合わせ、随時見直しの検討、実施					
		JR内房線無人駅の活用		・那古船形駅活用に向けた検討（市役所内部）	・イベント開催	・本格的な利活用に向けた検討			
		平群線・丸線の見直し		・実証運行（第1弾）	・実証運行（第2弾）	・実証運行（第3弾）	・路線再編に向けた検討、実行		
3. 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築（重点方針）	4. 地域が関わる新たな交通システムの導入	白浜千倉館山線の見直し		・ダイヤ一部変更			・利便性が高く効率的な形態を目指し協議検討 可能であれば見直しの実行へ		
		住民ニーズに応じた豊房線再編見直し	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
		ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討		・国や他地域での動向等情報収集を続ける			・富崎ぐるっとバス本格運行（一般車両にて） ・神戸等買い物シャトル実証 ・神戸等、他地区での実装検討（可能であれば実行へ）		
4. 観光二次交通の整備・確保（重点方針）	5. 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保	自動運転車両の導入研究	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
		GSMの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定	×	・GSMにこだわらず、鏡ヶ浦周辺を楽しく巡れる魅力的な仕組みを検討					
		観光周遊バスの導入	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
		南房パラダイス～相の浜の運行復活		・相の浜まで延伸済					
6. 公共交通を利用しやすい環境の整備	6. 既存路線の観光客対応	フリー乗車券や乗継割引等導入		・フリー乗車券販売	・スマホで購入できる乗車券など、分かりやすく利用しやすい仕組みの構築を行政・事業者で検討実施				
		貨客混載の検討	×	・行政、事業者と協議検討を続ける					
		タクシー運賃補助の導入	×	・他の施策との兼ね合いを見ながら検討					
5. 高齢者等支援制度の確立	7. 高齢者等の外出支援促進	日用品移動販売の検討	×	・先行事例の研究や事業者とのヒアリング等を行い、実現可能性を探っていく					
		運転免許返納者向け施策の周知強化		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
		公共交通のメリット等に関する周知		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
		タクシーのキャッシュレス化		・市内事業者対応済					
6. 公共交通を利用しやすい環境の整備	8. キャッシュレス化の推進	バスのキャッシュレス化		・PayPay導入（循環バス） ・交通系ICカード導入については行政・事業者にて検討を継続					
		ゾーン制など、分かりやすい運賃体系の導入	×	・ゾーン制のみならず、定額乗車券など、分かりやすく利用しやすい運賃制度の創設を行政・事業者と協議検討を続ける					
	10. ユニバーサルデザインの導入	バスやタクシー車両のバリアフリー化促進	×	・バス、タクシー事業者への働きかけ等を通じバリアフリー化を進める			・循環バス本格運行に合わせノンステップ車両導入		
		案内表示等の多言語化推進		・駅や車両等の各種案内表示多言語化を継続して進める					
	11. 公共交通に関する情報発信の強化	Google Map等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化		・GTFS-JPデータ作成（循環バス）			・本格運行後、改めてGTFS-JPデータ作成を行う		
		MaaSに関する取組着手	×	・乗換検索サイト等への情報掲載は概ね完了 以後は常に最新情報が掲載されるよう行政・事業者にて内容確認を行う					
		南房総市と連携したバス路線マップの製作		・路線見直し状況等を踏まえ、最適なタイミングでマップを製作する					
	12. 公共交通の通学利用促進	小中学校における路線バスの活用推進	×	・学校現場や保護者等の意見や方向性を踏まえ、路線バスの活用を働きかける					
		スクールバスの活用検討	×	・乗車定員や保護者の意見などから、混乗化が難しい状況					
		高校生及び保護者に向けた公共交通利用呼びかけの実施		・市内3高校新入生への案内チラシ配布を継続して実施する					
7. 公共交通により親しんでもらうための施策展開	13. モビリティ・マネジメントの実施	官公庁でのノーマイカーデーの実施	×	・継続して検討する					
		公共交通のメリット等に関する周知		・市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う					
	14. 家族で公共交通に親しめる施策の実施	家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室開催		・西岬小学校乗り方教室			・イベント開催を事業者と行政で検討する		
ファミリー向け割引制度の導入		×	・定額乗車券販売等を検討する際、ファミリーにお得な制度設計を合わせて検討する						

*進捗度合いについては、以下の基準にて事務局により判定した

○：進捗がおおむね60%以上と認められる事業

△：進捗がおおむね20～60%と認められる事業

×